

“Environmental Risk Evaluation of Chemicals: Achievements of the Project and Seeds for Future---- Development of Metrics for Evaluating Risks ----”

Junko Nakanishi, Masashi Gamo, Yoh Iwasa and Yoshinari Tanaka

Chemosphere, Vol.53, No.4 pp.359-398(2003)

「化学物質のリスク評価研究の成果とさらなる飛翔 リスク評価手法の研究の進展」

中西準子、蒲生昌志、巖佐庸、田中嘉成

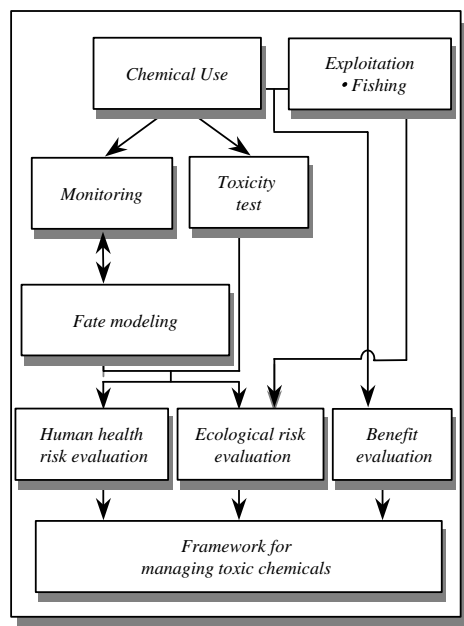


Fig. 1. Project Overview (Nakanishi, 1998)

Monitoring: monitoring of chemicals targeted for the project, in various environmental media.

Fate modeling: development of models for estimating the behavior of chemicals in various environmental media.

Human health risk evaluation: development of methodologies to evaluate human health risks in terms of Loss of life expectancy (LLE).

Ecological risk evaluation: development of methodologies to evaluate ecological risks in terms of probability of species extinction.

Benefit evaluation: evaluation of benefits associated with the use of each chemical such as economical benefits, convenience accruing from its use and conservation of resources.

Final proposal: proposal of a framework for managing toxic chemicals based on risk-benefit analysis.

要約：リスク管理において、異種のリスクを比較できるということは最も重要なことである。われわれの研究では、研究の当初から、「異種のリスクを比較できるような指標の開発」を目的にしてきた。それは、他の国などで行われているリスク評価とは、かなり違っている。何が違うか？リスク評価は、安全を証明するための道具ではないという点である。われわれは、この目標に向かって5年間奮闘し、成果を挙げた。ここでは、リスク評価手法にかぎって、その成果を報告する。

著者：中西準子（工学博士、環境インパクト解析・環境リスクマネジメント）

産業技術総合研究所化学物質リスク管理研究センター センター長

横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授

ホームページアドレス：<http://homepage3.nifty.com/junko-nakanishi/>

略歴：

1967年 東京大学都市工学部 助手

1988年 米国ミシガン州立大学 客員教授

1990年 東京大学環境安全センター 助教授

1993年 東京大学環境安全研究センター 教授

1995年 横浜国立大学環境科学研究センター 教授

2001年 横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授

2001年 独立行政法人産業技術総合研究所化学物質リスク管理研究センター センター長

書籍

「環境リスクマネジメントハンドブック」朝倉書店、「環境リスク論」岩波書店、

「水の環境戦略」岩波書店、「東海道水の旅」岩波書店：

